

平成 28 年秋期 IT ストラテジスト試験合格発表 分析コメントと今後の対策

(株) アイテック IT 人材教育研究部 2016,12,16

10 月 16 日 (日) に行われた平成 28 年秋期の情報処理技術者試験について、応用情報技術者ほか高度系 5 試験の合格発表がありました。同時に発表された得点分布などの統計データの分析をもとに、IT ストラテジスト試験の合格発表コメントをお知らせします。

■IT ストラテジスト試験試験 (ST)

[平成 28 年秋期の IT ストラテジスト試験 統計情報]

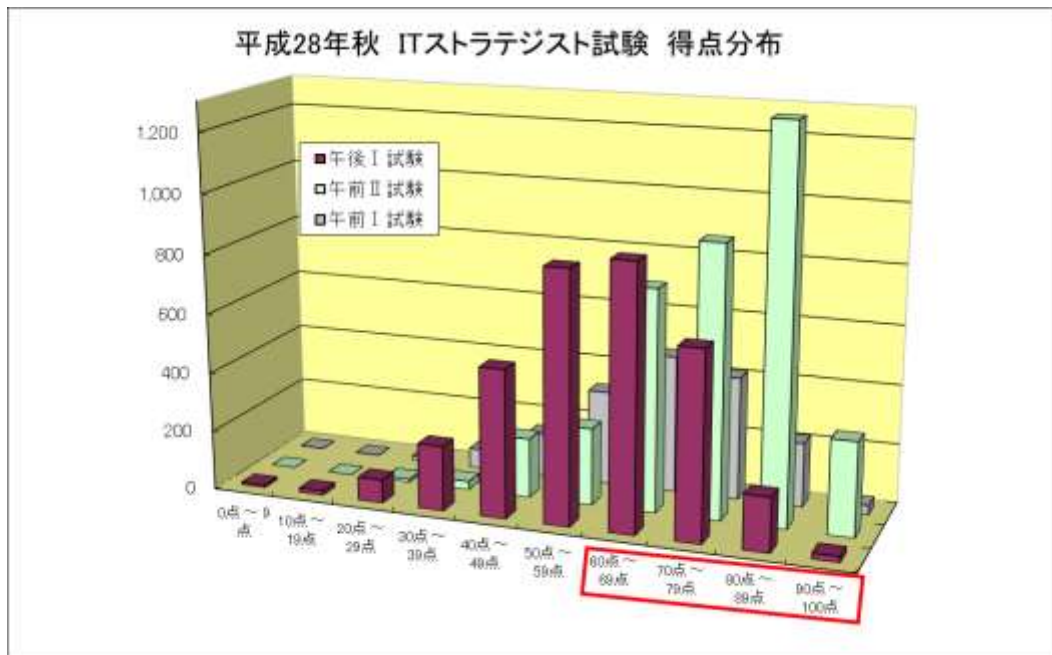
応募者	6,676 人
受験者	4,594 人
合格者	645 人
合格率	14.0%

平成 28 年秋期の IT ストラテジスト試験の合格率は 14.0% で前回の 14.6% に対して微減でした。次に発表されたスコア分布の分析とグラフを示します。

(平成 28 年秋 IT ストラテジスト試験 スコア分布)

得点	午前 I 試験	午前 II 試験	午後 I 試験	午後 II 試験	合格者
0 点 ~ 9 点	1	0	9	D 198	
10 点 ~ 19 点	1	0	15		
20 点 ~ 29 点	15	10	79	C 322	
30 点 ~ 39 点	66	28	219		
40 点 ~ 49 点	149	201	498	B 534	
50 点 ~ 59 点	319	260	841		
60 点 ~ 69 点	464	745	881	A 645	645
70 点 ~ 79 点	414	908	629		
80 点 ~ 89 点	217	1,490	182		
90 点 ~ 100 点	32	316	20		
計	1,678	3,958	3,373	1,699	645
対前試験比率		235.9%	85.2%	50.4%	38.0%
午前 I 免除者 (概数)	2,916	63.5%			

合格者数	645	採点者数の割合	合格者数との差
午前 I 60 点以上合計	1,127	67.2%	482
午前 II 60 点以上合計	3,459	87.4%	2,814
午後 I 60 点以上合計	1,712	50.8%	1,067
午後 II-A 評価	645	38.0%	0



午前 I 試験免除の人も増えてきましたが、得点分布を分析してみると、今回午前 I 試験の免除者は概算で 2,916 人 (63.5%) おり、受験者の 6 割以上の方が午前 II からの受験となりました。

次に午前 I 試験で基準点 (60 点) 以上の人は 1,127 人 (受験者の 67.2%) で、前回の 70.3% より若干下がっています。今回は少し難しい問題が多かったといえますが、その影響があったと思われます。

午前 II 試験で基準点以上の方は 3,459 人 (受験者の 87.4%) でかなり高い率といえ、前回の 76.5% と比べて 10% 近い増加になっています。

午後 I 試験で基準点 (60 点) 以上取れた人は 50.8% で、前回試験の 55.1% と比べて 5% ほど下がっています。ここ 3 回連続で比率が下がっています。

最後に午後 II の論述式試験で合格点 (A 評価) を取ることができた人は採点対象者の 38.0% で、こちらは前回試験 40.8% より少し下がっています。

■平成 28 年秋期 IT ストラテジスト試験 出題内容について

(午前 I 試験 (高度試験の共通知識問題))

- 高度試験に共通して出される問題 30 問は、従来どおり、すべて応用情報技術者試験 (AP) から選ばれています。今回選ばれた問題内容は、計算問題が 5 問 (前回 2 問) と増え、基礎理論の計算問題が例年どおり少し難しかったことから、全体に少し難しく感じられた受験者が多かったと思われます。

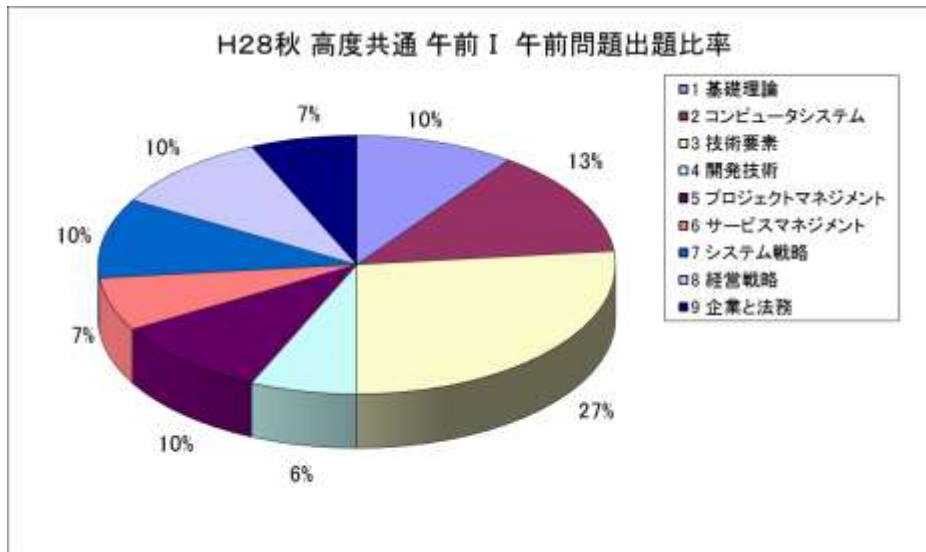
- 過去問題の比率は約 6 割で従来どおりの比率です。
- 分野別の出題比率は前回と同じで、出題範囲の中で 23 ある中分類からまんべんなく出題されていますが、重要な内容 (中分類) からは複数出題されています。現在はセキュリティ分野を重視した出題になっており、出題数は前回と同じ 4 問でした。
- 新傾向問題は次の 2 問で、前回と同じ出題数ですが、それ以前よりも少なくなっています。なお、問 9 のインデックスの問題はやや難問題でした。

(新傾向問題)

問 9 B+木インデックスのアクセス回数のオーダ

問 18 PMBOK の統合変更管理プロセス

平成 28 年秋期の高度試験共通 午前 I 問題出題比率



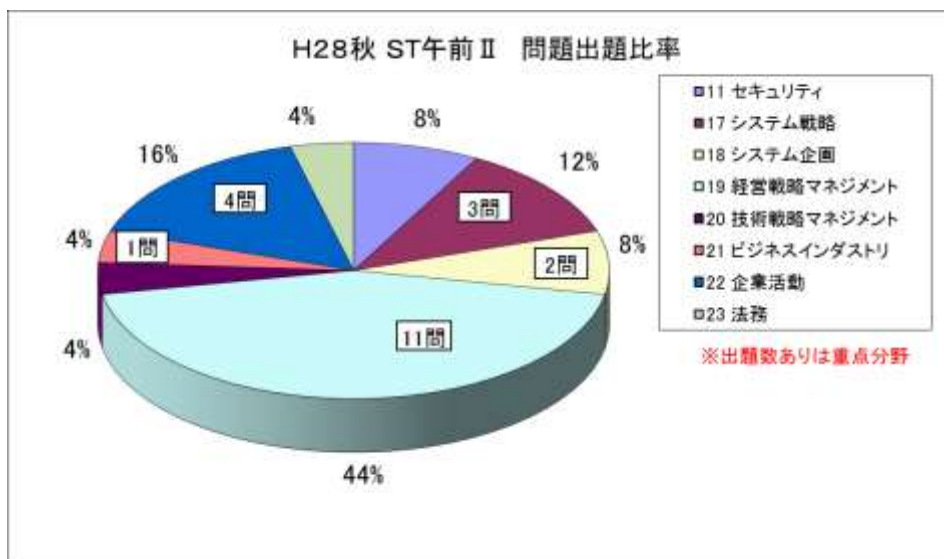
(午前 II 試験 (専門知識問題))

IT ストラテジストの午前 II 試験の重点出題分野は、システム戦略、システム企画、経営戦略マネジメント、ビジネスインダストリ、企業活動の 5 分野ですが、実際には経営戦略マネジメントが 11 問と最も多く、他の重点分野の 1~4 問と大きく出題数が異なります。

新傾向問題としては、次の問題がありました。

- 問 2 SCOR で定義している実行プロセス
- 問 3 協調フィルタリングを用いたもの
- 問 7 環境分析の代表的なフレームワーク
- 問 10 FSP (Frequent Shoppers Program) の説明
- 問 12 キャズム理論で“キャズム”が存在する場所
- 問 19 BCM において考慮すべきレジリエンス
- 問 21 人事考課におけるハロー効果

平成 28 年秋期の IT ストラテジスト試験 午前 II 問題出題比率



〔午後問題〕

・午後Ⅰ問題の出題分野とテーマは、次のとおりです。前回は4問とも記述量が200字以上ありましたが、今回は記述する字数は減りました。事例は様々な業種に渡っていますが、詳しい業務知識がなくても解答できる内容になっています。

問1 大学の業務及び情報システムの統合（公立総合大学） やや易～普通

統合方針，システムの概要と機能要求事項，個別の状況，統合計画の段階，課題，財務会計業務，NW工事，NWポリシーに沿った運営，認証機能の整備，メールアドレス管理，検討体制見直し理由

問2 地域医療情報連携システム（医療機関） 普通

システムの計画，関係者へのヒアリング結果，訪問計画作成業務，連携システム，機器の導入効果，訪問記録の利用，電子カルテ導入の検討・留意点，サービス料金の検討

問3 大型装置メーカーの業務プロセス改革（装置メーカー） 普通～やや難

業務プロセスの状況と課題，顧客の課題と要望，情報技術の活用，アクションプラン，集約情報，保守サービスのメニュー，保守に必要な情報新，新しいサービスのメリット

問4 漏水検知システムの企画（計測機器メーカー） やや易～普通

社会インフラの状況と行政の方針，水道管漏水復旧工事の実情，F社の保有技術，新システムの企画とシステム化検討，市場展開，共同開発内容

・午後Ⅱ問題の出題分野とテーマは次のとおりです。問1のビッグデータ，問3のIoTなど，絞られたテーマのため，関係する業務経験がないと記述は難しかったといえます。

問1 ビッグデータを活用した革新的な新サービスの提案について

新サービス提案の背景（事業環境・概要・特性），優位にするサービス内容，提案方法と評価

問2 IT導入の企画における業務分析について

事業目標の概要・分析，問題発見手段・工夫・原因，解決策の機能・性能，投資効果の説明と改善

問3 IoTに対応する組込みシステムの製品企画戦略について

企画概要・経緯・内容特徴，選択観点・手順，付加価値，役割・立案内容・配慮事項，企画の評価

itec